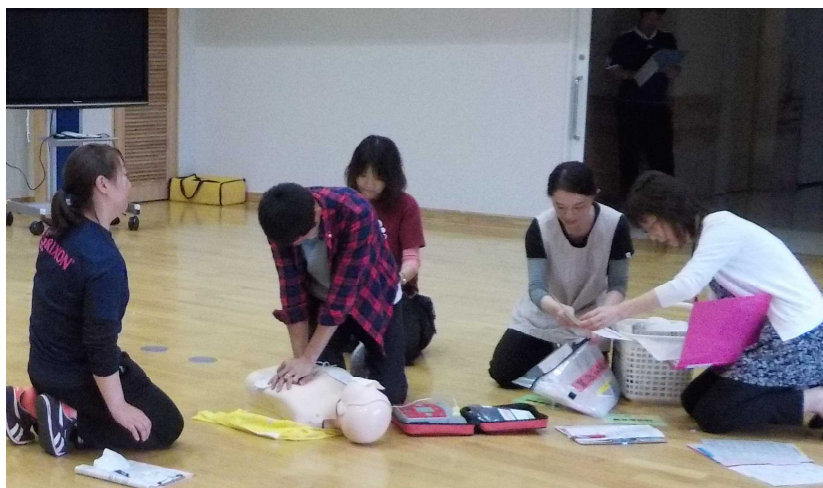


暑いが続きます。梅雨明け宣言が6月に出されるのは気象庁による統計開始以来初めてで、最も早い記録だそうです。暑い夏に負けないように、児童生徒の体調管理等に注意して安心・安全な学校生活が送れるよう、指導支援を行っていきたいと思っています。

6月15日（金）の放課後に職員による緊急時対応訓練を実施しました。緊急時（傷病者発生時）への対応として、救命救急措置、救急車要請から救急搬送まで一連の動きについて全職員で訓練を行うことにより、危機管理意識を高めると共に緊急時に適切な対応ができるようにすることを目的として実施しました。

写真は、消防署より借用した、ダミー人形と訓練用AEDを使用して、心肺蘇生訓練をしている様子です。

訓練の様子はビデオ撮影され、訓練終了後、全員でビデオ映像を見ながらの反省会を行い、どのような点がよかったか、改善点は何かなどの確認をしました。



6月28日（木）の放課後には、医療的ケアの研修会を実施しました。



はんな・さわらび療育園の園長でいらっしゃる 金子広司 先生をお招きして、特別支援学校職員としての専門性向上のため、写真や図を示していただきながら、専門的な話を分かりやすく解説していただきました。児童生徒の丁寧な観察と校内の環境整備が重要であるとの認識を改めて強くしました。

今後も消防署職員の方をお招きして、「心肺蘇生法」「誤嚥・窒息時の対応について」などの研修を実施していく予定です。